

「常呂川下流地区水害タイムライン検討会」(第10回)

令和4年7月15日に、「常呂川下流地区水害タイムライン検討会(第10回)」をオンラインにて開催しました。

タイムライン(事前防災行動計画)とは、災害が発生する前に地域住民が安全かつ円滑な避難を行うために、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有したうえで、防災行動の項目やタイミングを検討・整理した計画です。

今回の検討会では、令和元年に作成した「常呂川下流地区水害タイムライン試行版」を用いて、防災行動の検証訓練を実施しました。

- 開催日時 令和4年7月15日(金) 9:00 ~ 16:30
- 実施場所 Web開催 (補助会場:常呂町公民館)および日吉・福山地区
- 参加機関 北見市、網走開発建設部、網走地方气象台、北海道オホーツク総合振興局、陸上自衛隊第6普通科連隊、北海道警察、北見地区消防組合、北見市社会福祉協議会、常呂町農業協同組合、常呂漁業協同組合、きたみ市商工会、北海道電力株式会社、東日本電信電話株式会社、北海道北見バス株式会社、町内会(南町、共立、日吉、福山)、日吉・福山地区住民 計 15機関 125名

検証訓練の概要

今回の訓練は、北見市常呂自治区における水害発生を想定したシナリオを用いて、「常呂川下流地区水害タイムライン試行版」のタイムラインステージ2移行後の状況から開始しました。

訓練では、訓練用Webサイトにリアルタイムで気象情報、雨量、水位情報等を配信し、各機関がその状況を確認したうえで防災対応や住民避難に関する防災行動の手順を確認したほか、他機関との情報伝達のタイミングや手順、伝達内容を確認しました。

令和3年度に引き続きWeb会議ツールを活用し、タイムラインステージ移行や避難情報発令等の判断などの関係機関の協議を実施しました。常呂自治区の日吉・福山地区においては、コミュニティタイムラインを使用し住民への情報伝達とそれを受けての住民避難を実施しました。日吉地区においては、消防署員や消防団員などの現場対応者の現地活動の確認及び退避(安全確保)を実施しました。

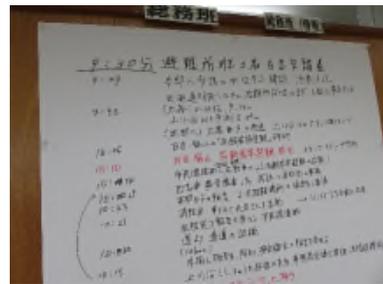
日吉・福山地区の一次避難場所である日吉会館では、訓練前日に感染症拡大予防を考慮した避難所設営を実施しました。



訓練の流れ(イメージ)



事務局によるTLステージ判断協議



自治区災害対策本部の対応記録

北見市常呂総合支所の訓練状況

北見市常呂総合支所では、支所庁舎内に自治区災害対策本部を設置しました。

自治区災害対策本部では、訓練用Web会議とは別回線で北見市本庁の災害対策本部とのWeb会議を常時接続して適宜、本庁との情報共有・協議を行いました。



常呂総合支所(自治区災害対策本部)



北見市本庁との協議の様子

北見市本庁の訓練状況

北見市本庁では、本庁庁舎内に災害対策本部を設置しました。

市長(役)に対する資料作成と報告、北海道防災情報システム(訓練モード)への入力、市民広報資料の作成等も併せて実施しました。

また、網走開発建設部および網走地方気象台からは北見市本庁にリエゾンを派遣し、情報提供・協議を行いました。



北見市本庁(災害対策本部)



リエゾンとの協議の様子

日吉・福山地区の住民避難訓練状況

日吉・福山地区ではコミュニティタイムラインに基づき、常呂総合支所からの情報連絡を受けて連絡網による避難情報の伝達確認と避難訓練を実施しました。

日吉・福山地区の一次避難場所である日吉会館では、訓練前日に感染症拡大予防を考慮した避難所設営を実施しました。当日は、避難者の受付や避難者名簿の整理などの対応を行いました。



町内会長からの電話連絡



要配慮者の避難支援



住民の避難訓練の様子



感染症対策として避難所入口での検温



避難者名簿への記入



避難所内の様子

日吉地区における現場対応訓練状況

日吉地区では、消防署や消防団が中心になり、現地活動の確認と現場対応者の退避(安全確保)に関する検証訓練を実施しました。現地活動の確認では、地区の巡視やその結果の通報を行いました。また、現場対応者の退避(安全確保)の手順や所要時間等の確認を実施しました。



立ち往生車両への対応



巡視による堤防漏水の発見



現場対応者の退避(安全確保)訓練

連絡・閉会

網走地方気象台から週末から週明けの気象予報に関する解説が行われた後、事務局からこれからの本格的な台風シーズンに向けて連携と対応を依頼し、第10回検討会は閉会となりました。